平成27年	F度事務事業評	平価シート 該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載) 一般事務 公共建設事業 評価対象外事業
事系	8事業名	選挙管理委員会運営事務
	算科目	2款 4項 1目
	での位置付け	行財政改革 行財政改革の推進
所管	意課情報	担当課: 行政委員事務局 電話番号(内線): 734
記力	者情報	所属長: 中田 末明 担当責任者: 佐々木 正孝
	美の性格	法定事務
実	施期間	【開始年度】 平成 18 年度 【開始年度】設定なし
事業	美の対象	有権者
根拠法令等	地方自治法	
事業の目的	選挙管理委員会所管	の事務を処理する。
事業の内容		選挙人名簿登録に関する準備検察審査会に関すること。なお、公職選挙法の一部改正 引き下げられたことに伴う選挙人名簿システム改修業務が平成27年度に限り追加され
改善策の 具体的 取り組み (当初)	公職選挙法の一部改	正に伴う情報等を選挙管理委員会委員に適宜提供する。
改善策の 具体的 取り組み	特になし	

		事業費	及び財源内訳		
J	頁 目	26年度決算	27年度予算	9月末の執行状況	27年度決算
	直接事業費	1,327	5,461	889	5,275
事業費	人件費	2,386	6,434	3,217	6,434
	合計	0	11,895	4,106	11,709
	人工数	0.30	0.80	0.40	0.80
人件費	人件費単価	7,954	8,042	8,042	8,042
内訳	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	2,386	6,433	3,216	6,433
	国庫支出金	1	1,989	0	1,989
	県支出金	0	1	0	0
財源内訳	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	3,712	9,905	4,106	9,720

	事業活	話動の実績(活動	协指標)		
項目	単位	26年度実績	27年度予定	9月末の実績	27年度実績
選挙管理委員会の回数	回	23	15	6	14

		向こう5年	間の直接事業	費の推移		
午庄	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	5年間の実績
年度	1,200	1,200	1,200	1,500	0	5,100

ı			成果指標		
	成果指標				0
	指標設定の 考え方				0
	区分年度	26年度	27年度	28年度	
	目標	0	0	0	0
	実績	0	0	0	0

	自己評価				
	目的の妥当性	5			
妥当性	市民ニーズへの対応	5	Α		
	市の関与の妥当性	5			
		5			
有効性	有効性	有効性		5	В
		3			
	手段の最適性	5			
効率性	コスト効率	3	В		
	受益者負担の適正	5			
	妥当性 有効性 効率性	目的の妥当性 妥当性 市民ニーズへの対応 市の関与の妥当性 事業の効果 有効性 成果向上の可能性 施策への貢献度 手段の最適性 动率性 コスト効率 受益者負担の適正	日的の妥当性 5 妥当性 市民ニーズへの対応 5 市の関与の妥当性 5 事業の効果 5 成果向上の可能性 5 施策への貢献度 3 手段の最適性 5 効率性 コスト効率 受益者負担の適正 5		

政治の根幹をなす選挙事務であるため、選挙管理委員会委員に適宜情報提供を行うとともに、選挙の執行において間違いのないよう法律の解釈を行い、県及び他市町の選挙管理委員会とも情報交換を行いながら、事務の執行を行うよう心がける。

課題認識

		一次評価		
		目的の妥当性	5	
	妥当性	市民ニーズへの対応	5	Α
		市の関与の妥当性	5	
一次評価		事業の効果	5	
(所属長)	有効性	成果向上の可能性	5	Α
(別為文)		施策への貢献度	4	
		手段の最適性	5	
	効率性	コスト効率	4	Α
		受益者負担の適正	5	
	選挙の執行においては	は、間違いのないように常に法律の解釈を怠らないことか	「大切であり、	他市との情報

選挙の執行においては、間違いのないように常に法律の解釈を怠らないことが大切であり、他市との情報 交換も特に必要である。

課題認識

	二次評価
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

	行政評価委員会の答申
外部評価 (行政評価委員会)	

	経営者会議の最終判断
事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	